# 未来を開く

長井市立長井北中学校

No 5 4 令和4年11月 8日

## 第2回進路学習会(3年)を

## \*\* \*\* \*\* \*

・ 異催しました!

「社会人にならない人はいない」

以前全校生に話した言葉です。3年生はもちろんですが、2年生はあと1年後に、1年生はあと2年後にこの時期がやってきます。いやおうなしに『判断が迫られる瞬間』がやってきます。

先週、3 年生と保護者の皆様を対象に、下記により進路説明会をいたしました。

学年主任より、『令和5年度入学者選抜実施要項』の説明後に、例年希望者が多い公立高校4校の先生や生徒さんからお話をお聞きしました。

| 日時 令和4年||月4日(金)

13:15~15:15

2 場所 長井北中学校体育館・2階ラーニング

3 日程 (I)開会行事

(2)公立高等学校入試について

- (3) 進路関係の日程と手続きについて 他
- (4)公立高等学校に学ぶ(長井高校、長井工業高校、 荒砥高校、南陽高校から2校選択)



## <u>令和5年度</u> <u>公立高等学校入学者選抜</u> 実施要項等について

※ここでは、公立高等学校の推薦入学と一般選抜についてのみご説明いたします。



		地域主要の振興に実にする職業 1 の女代も日北 上上 火
推		地域産業の振興に寄与する職業人の育成を目指し、 <u>特に、当</u>
		該学科で学ぶ職業に強い関心をもち、将来の職業人として身
薦		につけるべき専門教育を受けることを希望するなど、明確な目
選	的	<b>の意識をもつ</b> 生徒を入学させることを目的とする。
抜		
JVX		※調査書の内容と一致することが重要になります。
		選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、各高等学
_	選	校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能
般	抜	力・適性等を判定して行う。
選	$\mathcal{O}$	※今年度、南学区で『面接』を実施する学校は、県立米沢
	方	工業高等学校と県立小国高等学校です。
抜	法	他校では、調査書に記載された中学校生活が評価され
	1	ることとなります。

- ◆◆今年度の大きな変更点◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
  - ① 本検査実施日:令和5年3月 7日(火)
  - ② 追検査実施日:令和5年3月12日(日)

#### 追検査とは・・・

- ・インフルエンザ等の感染症に罹患するなどして、本検査を受検で きない者。
- ・真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。 と限定されています。(新型コロナウイルス感染症への対応につい ては、後日通知されます。)

先ごろ、月山や蔵王山の初冠雪について耳にしました。立冬も過ぎ、 いよいよ本格的な冬に備える時期になってきました。

通 学 方 法 ◆冬は、徒歩かスクールバスのみとなります。

**防 寒 着 ◆防寒機能があり、派手な色やデザインでないもの。** 

セーターや下着類

◆制服の中に着用してもよい。

学 、靴 ◆雪や氷に対する安全性が最優先。防寒機能も重要

※ヒールが高いものや、飾りなどが付いたおしゃれな

靴は、プライベートで使用しましょう。

詳細は、10/25に配布しました「風をよぶ」を参考願います

## 全校「スクリーニング」を実施

11月4日(金)、専門家による全校「スクリーニング」を実施。早め早めの対 応で、生徒の健全発達を支援していきたい。



R4.7月7日発行の学校だよりでお伝 えしましたとおり、市教育委員会の実施 する事業の一環として「特別支援教育 の推進」があります。

特に、通常学級において支援を必要 としている児童生徒を把握し、早期に 効果的な指導を行うため、軽度発達障 がいに関する調査を、今年度も市内全

小・中学校ですすめることになりました。この調査を「スクリーニング」と いいます。今年は7月に1回めを実施し、今回が2回めとなります。

全国的な調査によると、通常、全児童生徒の6%程度が軽度の発達

障がいの傾向を持つと言われています。専門 家によれば、どの人でもその傾向を持っている との指摘もあり、強く出ているか弱く出ている かという違いだけだという所見もあります。

ただ、心配なこともあります。それは「軽度発 達障がい」の傾向があることに気づかないで いて、人と話すのが極端に苦手なためにトラブ ルを起こしがちだったり、先生の話がよく聞き 取れないためになかなか学力がつかなかった り、さらには、小さなことにこだわってケンカにな ったりする場合などがあるということです。



「軽度な発達障がい」は、早めの対応により飛躍的に改善したり、成長 すると何でもないこともあります。しかし、見過ごされたり周囲の理解が ないために、本人が人知れず苦しんでいる場合が往々にしてあります。 そのためにスクリーニングを行い、小・中学校段階で「軽度な発達障が い」を早期に発見し、その子に応じた支援をしていこうとするものです。

今回も前回に引き続き、山形大学教授の三浦光哉(みうらこうや)先 生をお招きしました。県下のみならず県外の多くの市町村でスクリーニ ングを実際に進められ、実績をあげていらっしゃる先生です。

4日(金)の3、4校時、全教室に出向き、掲示物や生徒の学習のようす を見ていただきました。

今後、必要に応じてご家庭とも相談し、生徒が、今後もよりよく生活で きるよう対応していく予定です。



### **Jアラートへの対応について**

【自宅や建物内にいる時】

窓から離れ、机や近くにあるもので落下物から 頭部と身体を守る。

#### 【登下校途中や屋外にいる時】

- スクールバス乗車中は、運転手さんの指示に従う。
- ●・自転車運転中は、停車し近くに住居等があれば避難をさせていただく。
- 屋外から室内に避難し、可能な限り机や近くにあるもので落下物から頭 部と身体を守る。

【お詫びと訂正】No53 号で紹介した美術作品「2年静物画」は「1年静物画」 の誤りでした。申し訳ありませんでした。